

てんかんの対処法学ぶ

徳大病院で
市民講座

徳島大学病院てんかんセンターの市民公開講座「てんかんを知ろう」が1日、徳島市蔵本町の同病院であり、専門医4人が講演した。患者やその家族ら60人が参加し、症状の

特徴や発作が起きた際の接し方を学んだ。

藤原敏孝助教(脳神経外科)らが、てんか

んの発作は脳の神経細胞が異常な興奮状態となるために起き、子どもだけではなく、高齢

者の患者も多いことを紹介。症状として▽全身がけいれん▽体の一部が硬直▽意識を失って呼び掛けに回答しなくなる―などの例があることを説明した。

同病院てんかんセンターは2016年12月に開設され、小児科、脳神経外科、精神科の医師や看護師ら約20人のスタッフが治療などに当たっている。

処法として「無理に制止せず、意識が回復するまで見守って」とアドバイス。発作時の映像を撮っておくと診断に役立つことや、発作の原因となる部位を取り除く外科手術について解説した。

山口和也